

## 地下貯留浸透槽 アクアロード

～道路直下に使用可能な樹脂製貯留浸透槽～

開発者名	積水化成品工業株式会社
------	-------------

賢材分類	建：雨水貯留浸透槽として道路など大型車の通行する地下に使用
------	-------------------------------

積水化成品工業(株)は、ポリプロピレンを構造材に使用した、**地下貯留浸透槽**「アクアロード」を開発しました。本工法は、交通荷重が作用する道路直下での使用を想定した「建設技術審査証明」を、樹脂製貯留槽では**日本で初めて**取得しました。

アクアロードは樹脂製構造材であり、使用されるポリプロピレンの引張クリープ試験により算出された**50年後**の物性予測値を基に、構造体内に掛かる必要強度を満たす形状設計を行い、部材形状、部材の勘合方法を決定しました。建設技術審査において車両通行の実大試験を行い、必要性能を有することが証明されました。

ポリプロピレンは、汎用樹脂として成型性に優れた賢材であり、長期の性能変化を把握して適切に商品設計することで、**50年以上**使用される土木構造体でも使用することが可能になります。

近年、全国的に“ゲリラ豪雨”と呼ばれる集中豪雨が、道路冠水・家屋浸水等の被害をもたらしております。この対策として、大型調節池、雨水管などコンクリート製構造物の建設が進められておりますが、高価で大規模な工事となります。また、市街地では建設に必要な用地確保が困難であるため、道路直下に比較的小規模の雨水貯留浸透槽を容易に多数設置することができるアクアロードは、集中豪雨対策に有用なものです。

道路のみならず、大型車の通行する物流倉庫や、工場内敷地においても雨水処理を行うことが可能です。

アクアロードは、想定以上の雨水を処理するための地下構造部材として開発しましたが、地中の熱を取得する空間を構築する構造材としても使用が検討されています。地下に貯留した雨水が持つ安定した熱を、住宅の空調、ヒートアイランドの要因である路面温度の緩和に活用することで、省エネルギーによる社会貢献を推進します。

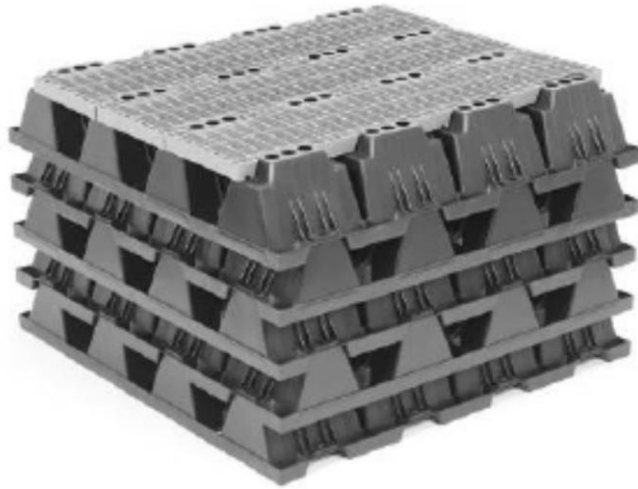


写真1 セキスイ アクアロード(雨水貯留浸透槽構造部材)



図1 セキスイ アクアロード使用イメージ

参考文献

—